



2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月1日
株式会社ティーガイア

免責事項

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

1. 2025年3月期 1Q連結決算概要
2. 中期経営計画に基づく取り組み
3. 参考資料

1. 2025年3月期 1Q連結決算概要

2025年3月期 1Q連結決算概要

コンシューマ事業の復調(前期から継続)により営業増益ながらも、2Q以降の手数料条件が変動する可能性あり、要注視。

(単位:億円)	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年同期比
売上高	964.3	1,047.5	108.6%
売上総利益 (売上総利益率)	171.6 (17.8%)	191.0 (18.2%)	111.3% (+0.4p)
販管費	161.2	160.0	99.3%
営業利益 (営業利益率)	10.3 (1.1%)	30.9 (3.0%)	297.9% (+1.9p)
営業外損益 (カード退蔵益他)	8.2	11.8	143.3%
経常利益	18.6	42.8	229.3%
純利益※1	11.1	28.0	251.0%
回線契約数(万回線)	76.9	77.3	100.5%

25/3期 通期計画	計画進捗率
4,184.0	25.0%
756.0 (18.1%)	25.3%
668.0	24.0%
88.0 (2.1%)	35.2%
55.0	21.6%
143.0	30.0%
80.0	35.1%

※1 純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

2025年3月期 1Qセグメント別業績

(単位:億円)	コンシューマ事業				法人事業				地方創生・クオカード事業			
	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年 同期比	計画 進捗率	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年 同期比	計画 進捗率	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年 同期比	計画 進捗率
売上高	815 [84.5%]	891 [85.1%]	109.4%	25.5%	94 [9.8%]	103 [9.9%]	109.7%	22.7%	54 [5.6%]	52 [5.0%]	96.2%	13.4%
売上総利益	132.6 [77.3%]	148.6 [77.8%]	112.1%	25.9%	28.7 [16.8%]	30.6 [16.0%]	106.4%	22.8%	11.9 [7.0%]	13.2 [7.0%]	110.8%	23.3%
営業利益	7.1 [69.2%]	28.3 [91.7%]	394.4%	37.9%	2.7 [26.9%]	3.9 [12.9%]	142.7%	17.8%	▲ 0.1 [▲1.4%]	▲ 2.4 [▲8.0%]	—	—
純利益	3.2 [28.7%]	18.3 [65.3%]	570.6%	38.5%	1.4 [13.4%]	2.3 [8.3%]	155.7%	18.7%	5.6 [50.2%]	5.8 [20.7%]	103.6%	22.6%
回線 契約数 (万回線)	70.0	70.4	100.6%	—	6.9	6.8	99.8%	—	—	—	—	—
事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ・回線契約数は前年同期比微増 ・端末値引きの抑制等に伴う単価UP、店舗の効率化もあり営業増益 				<ul style="list-style-type: none"> ・回線契約数は前年同期比並み ・全社賦課経費の負担割合増はあるも、法人モバイルの単価改善により営業増益 				<ul style="list-style-type: none"> ・PIN、ギフトカードの取扱高は低調 ・QUOカード、QUOカードPay発行は堅調 ・デジタルギフトサービスやクオカード事業におけるシステム等の先行投資により販管費増 			

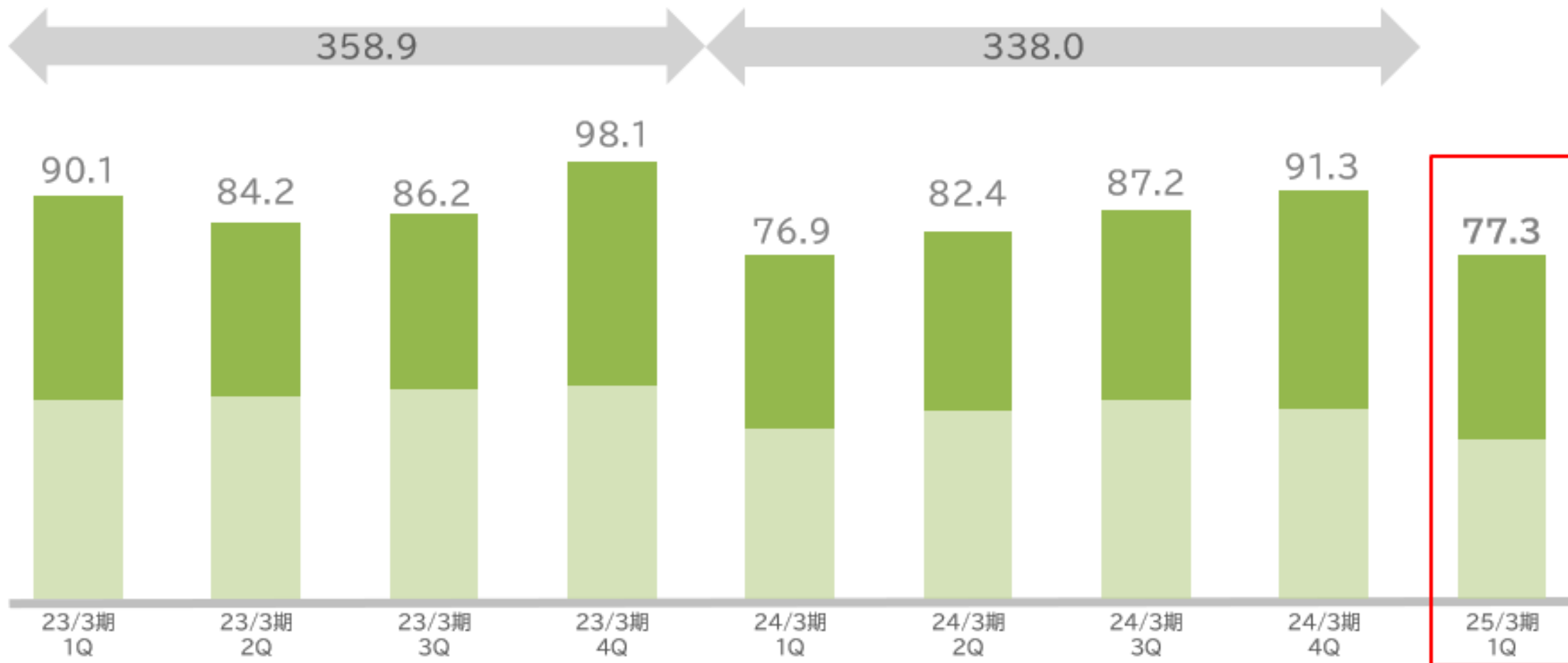
[] 内の数値はセグメント別構成比
「その他」に該当する金額は本表では記載を省略しております

全社回線契約数推移

省令改正(2023年12月)の影響等による端末価格の高額化は進んだものの、前年同期並みの水準を堅持

■ 回線契約数(新規) ■ 回線契約数(機種変更)

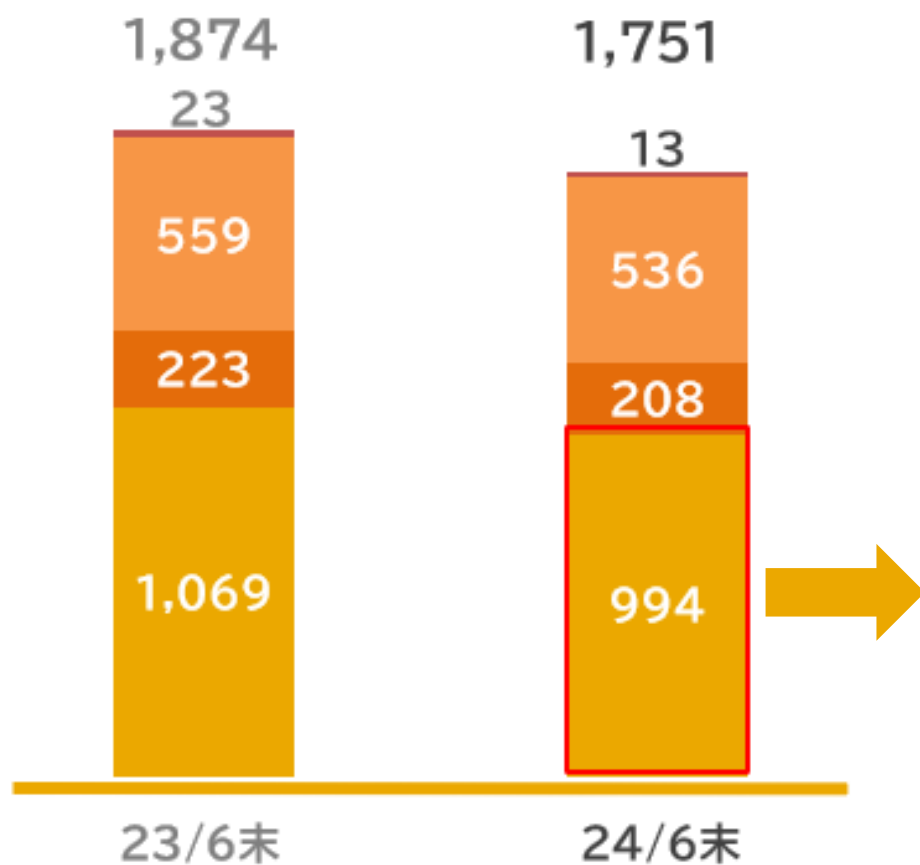
(単位:万回線)



全社販売拠点数推移

当社判断による、地域ごとの店舗配置の見直し、サブブランド店の統合、不採算店の閉鎖等を実施

- キャリアショップ
- 併売店等
- 量販店
- アクセサリーショップ・その他
(Smart Labo・UNiCASE・ECサイト含む)



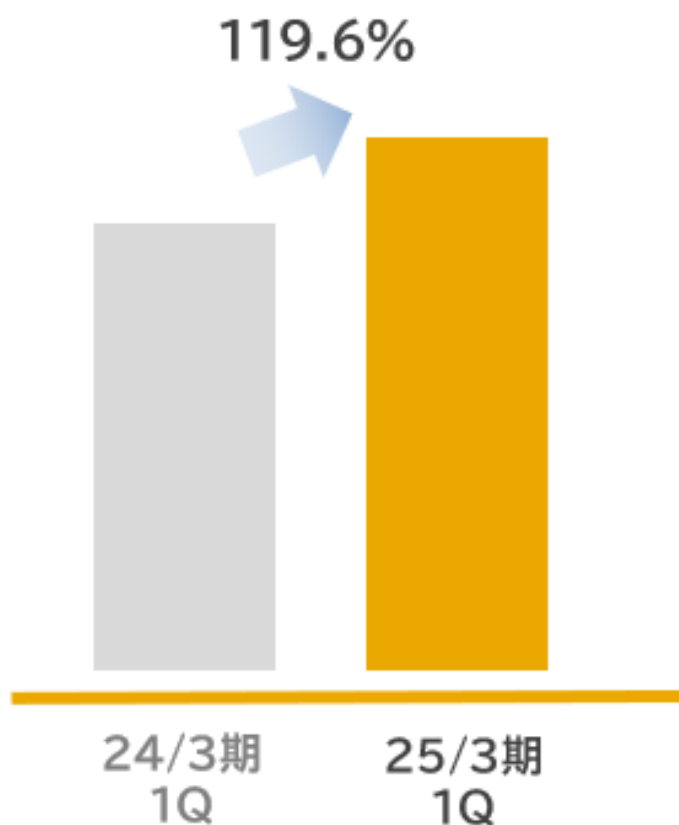
キャリアショップ数推移

	23/6末		24/6末		増減数	
	店舗数	内)直営店	店舗数	内)直営店	店舗数	内)直営店
docomo	362	206	346	206	▲ 16	0
au	326	80	289	71	▲ 37	▲ 9
SoftBank	306	41	294	40	▲ 12	▲ 1
Y!mobile	32	4	24	0	▲ 8	▲ 4
UQ mobile	8	5	7	2	▲ 1	▲ 3
楽天モバイル	35	28	34	27	▲ 1	▲ 1
計	1,069	364	994	346	▲ 75	▲ 18

コンシューマ事業 主要KPI推移

店舗運営の効率化により店舗あたりの来店客数は増加し収益改善

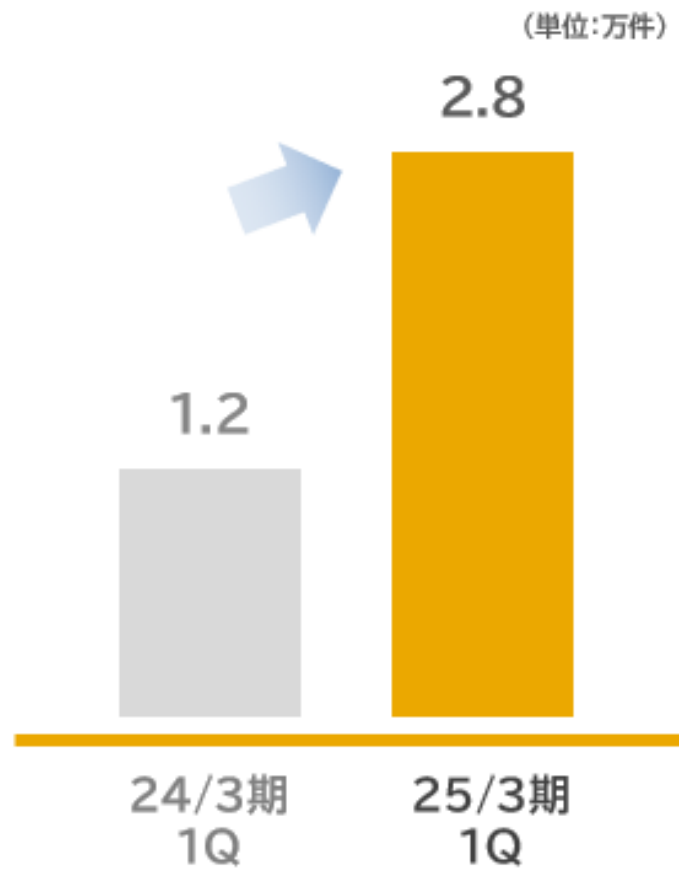
直営キャリアショップ
店舗あたり来店客数



※docomo、au、SoftBankショップの合計値
(当社調べ)

対象店舗数拡大によるリモート対応件数の増加が生産性向上に寄与

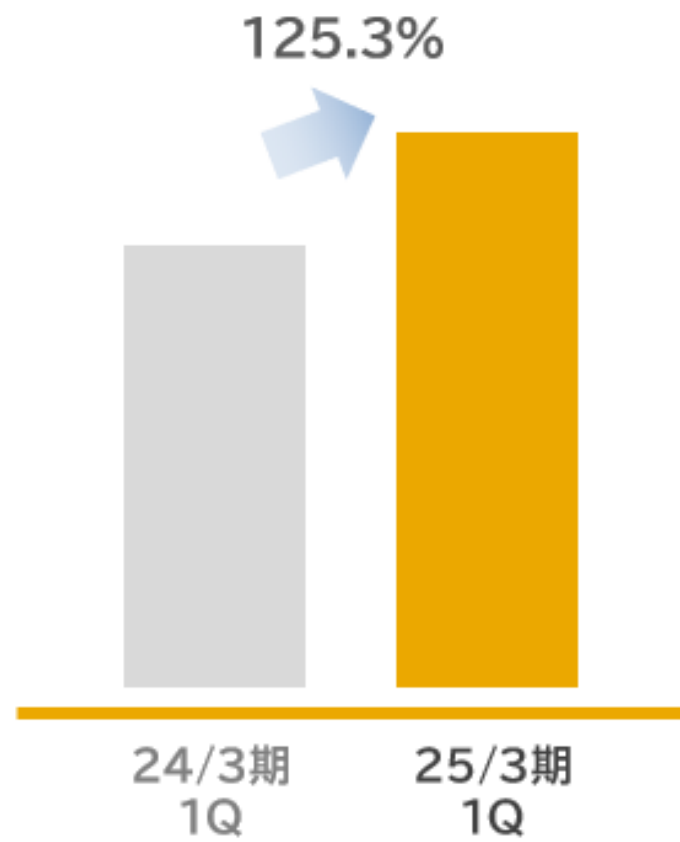
キャリアショップ
リモート接客数



※当社指定のコールセンターにおける受電数

独自商材はセキュリティ商材中心に堅調に推移

当社独自商材
売上総利益



※当社独自商材…スマホアクセサリ、ガラスコーティング、セキュリティ商材など、通信キャリアの回線契約・端末販売以外のサービス・商材

法人事業 主要KPI推移

独自商材は堅調に推移

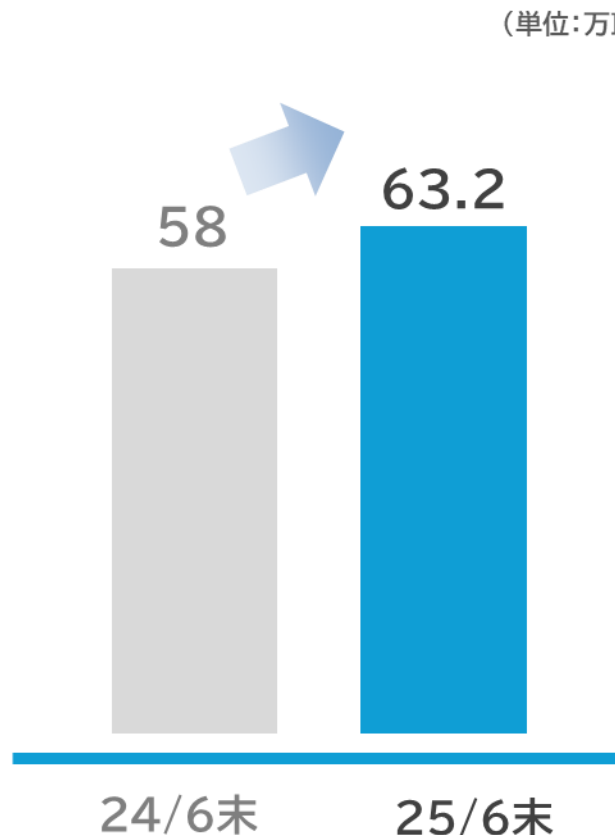
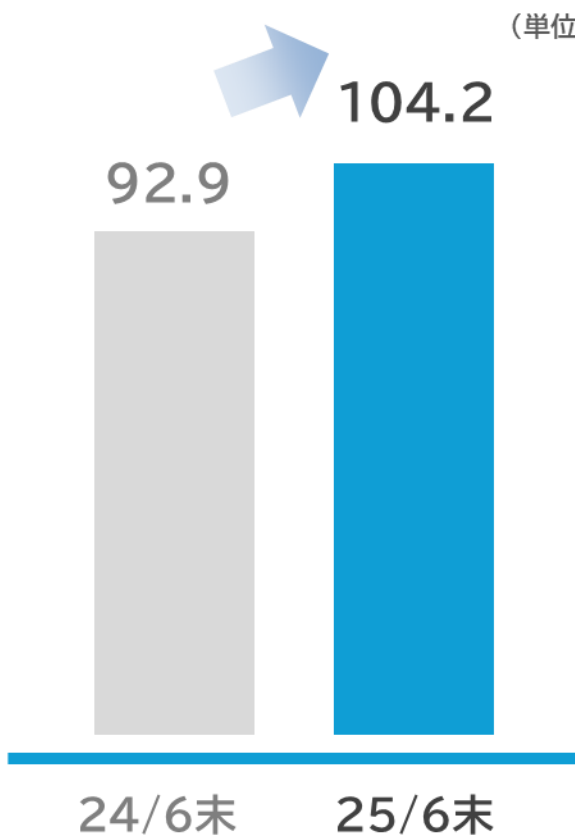
movino star
ID数

ヘルプデスク
ID数

TG光 累計回線数
(再卸含む)

(単位:万ID)

(単位:万ID)



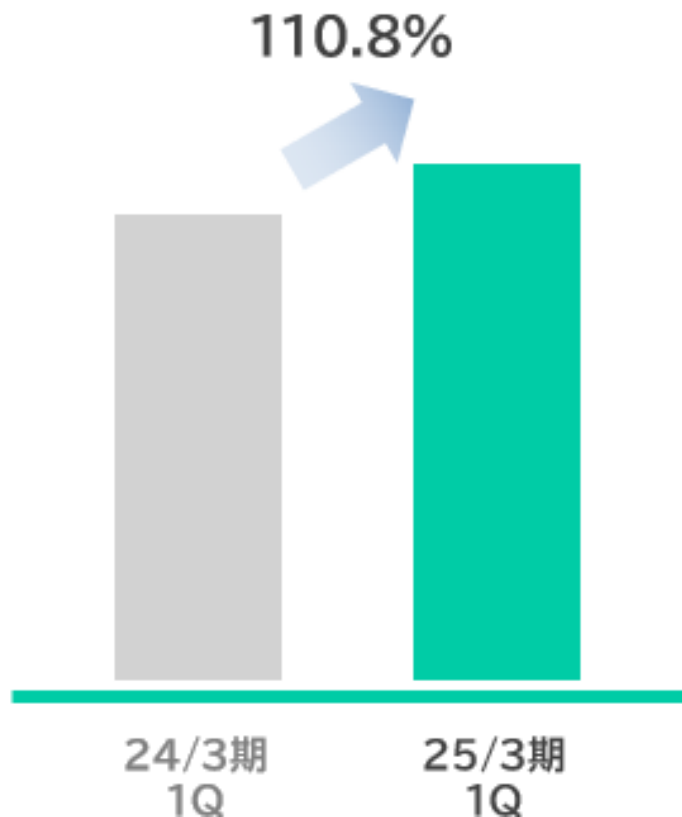
※movino star:法人向け通信回線一括管理サービス

※平日ヘルプデスク、セキュリティデスク(24時間365日
対応)ID数の合算値

地方創生・クオカード事業 主要KPI推移

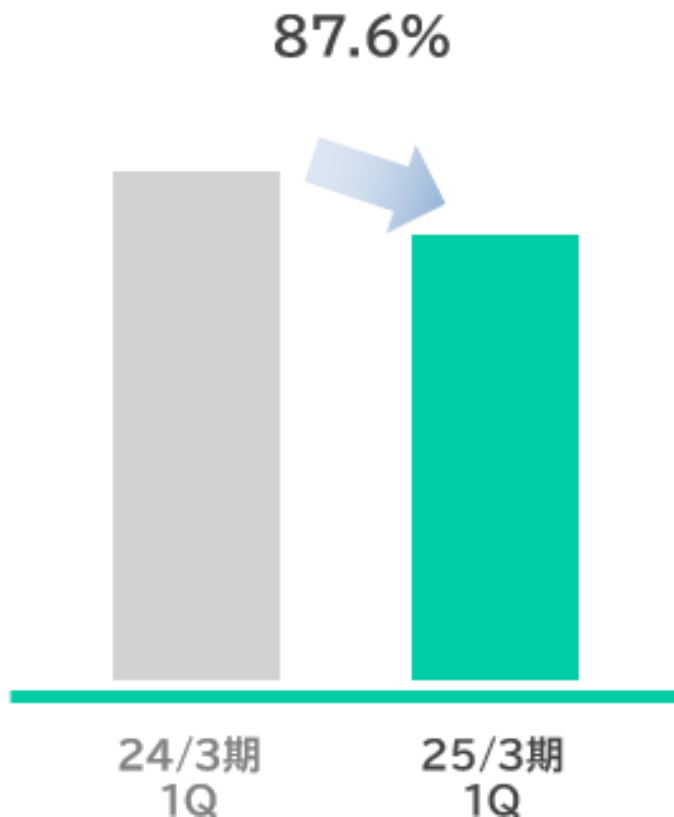
自治体等の案件数はグループ全体で増加傾向

地方創生事業
案件数



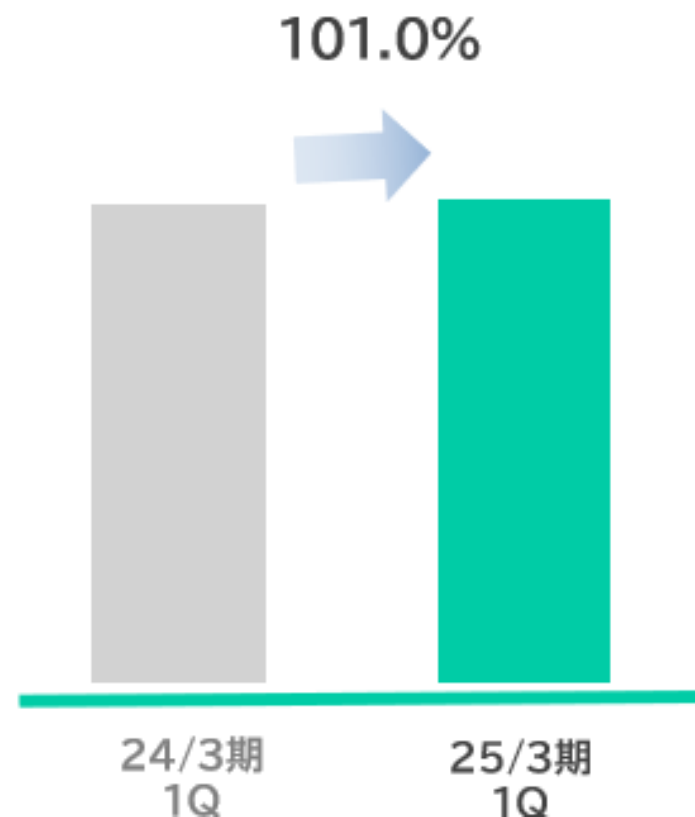
ゲーム需要等の落ち着きにより、低調に推移

PIN・ギフトカード
取扱高



QUOカード・QUOカードPayの発行は堅調

QUOカード・QUOカードPay
発行高



※地方創生・クオカード事業、法人事業における自治体等(課・局単位)の案件受注数(納品ベース)合算

2. 中期経営計画に基づく取り組み

コンシューマ事業

中期経営計画に基づく取り組み



中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)より抜粋:<https://www.t-gaia.co.jp/corp/ir/plan/pdf/plan.pdf>

① キャリアショップ 独自商材の拡充

- ドコモショップにおいて、「UNiCASE」ブランドのアクセサリ取り扱い開始

キャリアショップの成長

② 人財育成

- マルチキャリアの強みを生かした全キャリア合同スタッフ研修の実施

人財教育体制の再構築とエンゲージメント向上

コンシューマ事業

既存事業の拡大と新たな取り組み



① 当社アセットを活用した「ecbo cloak」の展開

- 荷物預り場所のシェアリングサービスである「ecbo cloak (エクボクローク)」を展開するecbo社と4月に資本業務提携
- 当社の直営店舗を含むアセットを活用し「ecbo cloak」のスペース提供場所の拡大を図る

ecbo

キャリアショップの成長

③ 海外トラベル eSIM「VOYAGEESIM」エリア拡大・新商品発売

- アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド等エリア拡大
- インバウンド向け新商品「VOYAGEESIM for Japan」発売開始



※eSIM:従来のSIMカードのようにスマホに挿入する必要がなくオンラインで手続きするとすぐに使えるデジタルのSIMのこと

既存事業の拡大

中期経営計画に基づく取り組み

法人事業 — 取り組み —



法人事業

新たな取り組み

中堅・中小企業向けソリューション

- CRM構築で営業ナレッジを集約し、マーケットインの視点で業界特有の課題解決
- 中堅・中小企業向けソリューション「まるっと情シス」の開発
- 中堅・中小企業営業特化の組織創設
- 業種別専任組織の創設(現場ノウハウを集約)
- **業種別・企業規模別に応じた最適な提案をサポートできる営業支援の実現**

最適なITソリューション提案でお客様のDX推進支援

さらなる強化

モバイルソリューション・スマートサポートの強化

- PC+スマートフォンの「統合スマートサポート」サービスへの発展(既存スマートサポート+Microsoft 365/Google Workspace)
- BPO事業におけるICT活用による業務品質改善と生産性向上
- ネットワーク・セキュリティ提案とその提供体制強化
- 専門資格取得による人財強化提案力
- グループ会社・他本部との連携による案件創出
- パートナー企業との連携強化・拡大、商材拡充による収益拡大

T-GAIA

中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)より抜粋:<https://www.t-gaia.co.jp/corp/ir/plan/pdf/plan.pdf>

業種別ソリューション

■ 業種別・企業規模別ごとの課題やニーズを、“現場視点”で解決できる提案力の向上



製造業、介護業、建設業など、特に中堅・中小企業が多い業種を重点的に取り組む。グループ会社も含めた、ティーガイアの総合力を発揮。

地方創生・クオカード事業

中期経営計画に基づく取り組み



中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)より抜粋: <https://www.t-gaia.co.jp/corp/ir/plan/pdf/plan.pdf>

①「あっとギフト」運用開始

- 当社オリジナルの法人向けキャンペーン支援システム「あっとギフト」をリリース
- デジタルギフトの提供からキャンペーンの企画・実行まで、デジタルギフトに関するあらゆるサポートをワンストップでご提供

デジタルギフト提供



多様なラインナップから選択可能

キャンペーン機能提供



多彩なキャンペーン機能で幅広いニーズに対応

キャンペーンサポート



カスタマー対応や景品発送など周辺業務を代行

 あっとギフト

サービスサイト: <https://at-gift.jp/>

地方創生・クオカード事業

地方創生事業の取り組み



②自治体との連携

地域活性化起業人

■千葉県勝浦市(7月～)

過去に受託したデジタルデバインド解消施策の実績が評価され、スマホ相談支援員として派遣

※地域活性化起業人:総務省による取り組みで、企業の社員を自治体に派遣し、地域貢献する活動

観光コンサルティング

■茨城県阿見町(あみ観光協会:7月～)

地域特産物を扱う物販店舗の出店に伴う観光業務支援を受託、2025年秋頃にECサイトも併せて出店予定

自治体のDX支援を通じた地域住民の生活利便性向上



③ミュージアムホテル

■著名なデザイナーである中野シロウ氏との共同出資会社を設立、山梨県北杜市(清里)にミュージアムホテルを10月を目途に開業予定

インバウンド需要を見据えた取り組みを通じて地域経済を活性化



④Active Ring™

■株式会社三菱総合研究所、株式会社Moffと連携し健康寿命の延伸と社会保障費の適正化に向けたサービスを複数の自治体に展開

※「Active Ring™」は自治体向け健康づくり支援サービスの名称

健康寿命延伸



3. 參考資料



TGビジョン ～わたしたちの目指す姿～

- 新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。

TGミッション ～わたしたちの使命～

- 社員とその家族を大切にし、働く喜びを実感できる企業であり続けます。
- ビジネスパートナー・地域社会・株主と強い信頼関係を築き、ともに発展し続けます。
- リーディングカンパニーとして、変化を先取りし、新たなビジネスに挑戦し続けます。

TGアクション ～わたしたちの行動指針～

- 「ありがとう」を超えるサービスを追求します。
- 情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦します。
- コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場をつくります。
- 多様性を尊重し、最高のチームワークを実現します。
- プロフェッショナルとして日々の自己研鑽に努めます。
- いかなるときも高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。

2025年3月期 全社連結業績予想

コンシューマ事業の伸長と法人事業の復調等を見込む
カード退蔵益は発行額増加により、前期比増を見込む
希望退職募集の一時費用(特別損失約17億円)を見込む

(単位:億円)	24/3期 通期実績	25/3期 通期計画	前期比
売上高	4,489.5	4,184.0	93.2%
売上総利益	747.5	756.0	101.1%
販管費	667.0	668.0	100.2%
営業利益	80.5	88.0	109.3%
営業外損益 (カード退蔵益他)	43.4	55.0	126.8%
経常利益	123.9	143.0	115.4%
純利益	70.1	80.0	114.1%

純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

2025年3月期 セグメント別業績予想

コンシューマ事業は引き続き堅調、法人事業は増益。地方創生・クオカード事業はシステム投資等により減益を見込む

(単位:億円)	コンシューマ事業			法人事業			地方創生・クオカード事業		
	24/3期 実績 ^{※1}	25/3期 計画	前期比	24/3期 実績 ^{※1}	25/3期 計画	前期比	24/3期 実績 ^{※1}	25/3期 計画	前期比
売上高	3,878.2	3,498.0	90.2%	437.1	458.0	104.8%	218.7	254.0	116.1%
売上総利益	585.2	575.0	98.3%	122.2	134.0	109.6%	47.0	57.0	121.3%
営業利益	73.0	75.0 ^{※2}	102.7%	15.0	22.4 ^{※2}	148.6%	▲ 6.1	▲14.5 ^{※2}	—
純利益	43.5	47.6	109.3%	▲ 0.7	12.5	—	26.3	25.7	97.7%

※1 2024年3月期実績は、新セグメントにて再集計した結果を表示しております。(売上高はセグメント調整前の参考値。)

※2 2025年3月期よりコーポレート部門の賦課経費負担を見直しました。計画値には次の影響が含まれております。

コンシューマ事業: +約7億円、法人事業: ▲約6億円、地方創生・クオカード事業: ▲約4億円

※3 希望退職募集に伴う一時費用は、非表示の「その他」セグメントに含めております。

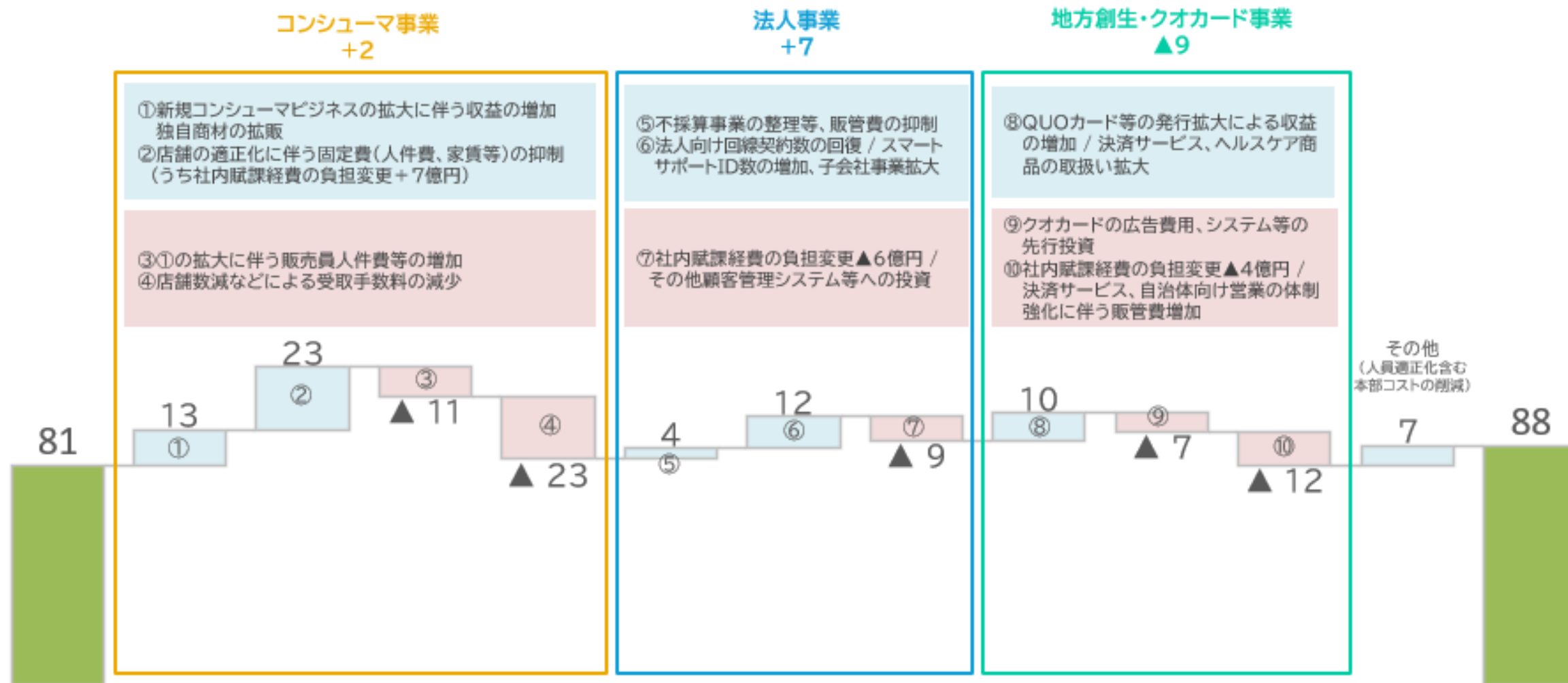
2025年3月期 全社連結業績予想(増減理由)

営業利益 前期比増減

※2024年3月期実績は新セグメントに組み替えて比較

■ 営業利益の増加 ■ 営業利益の減少 ■ 営業利益

(単位:億円)



株主還元策

25/3期 配当予想

年間配当金: **75円/株**
(中間:37.5円/株、期末:37.5円/株)

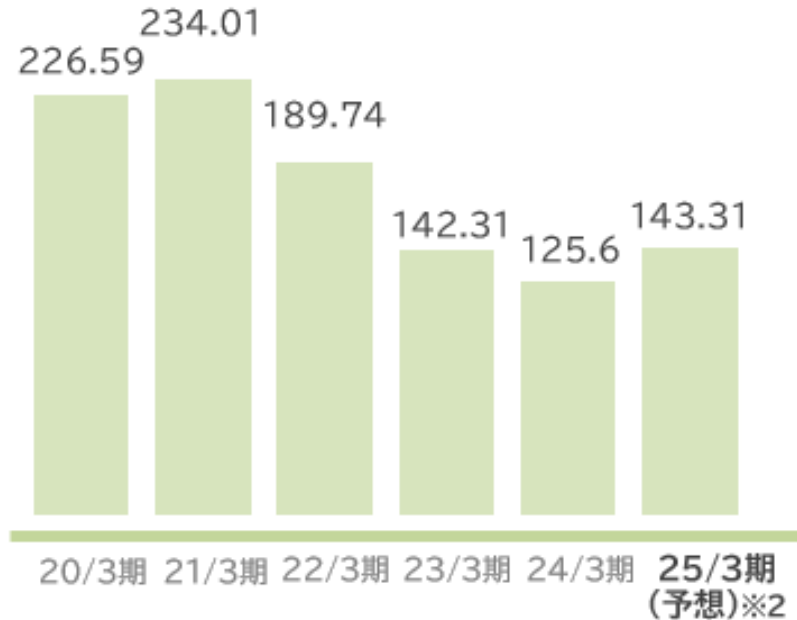
配当の基本方針

連結
配当性向 **40%**を目途※1

長期にわたり安定的かつ
継続的な利益還元を実施

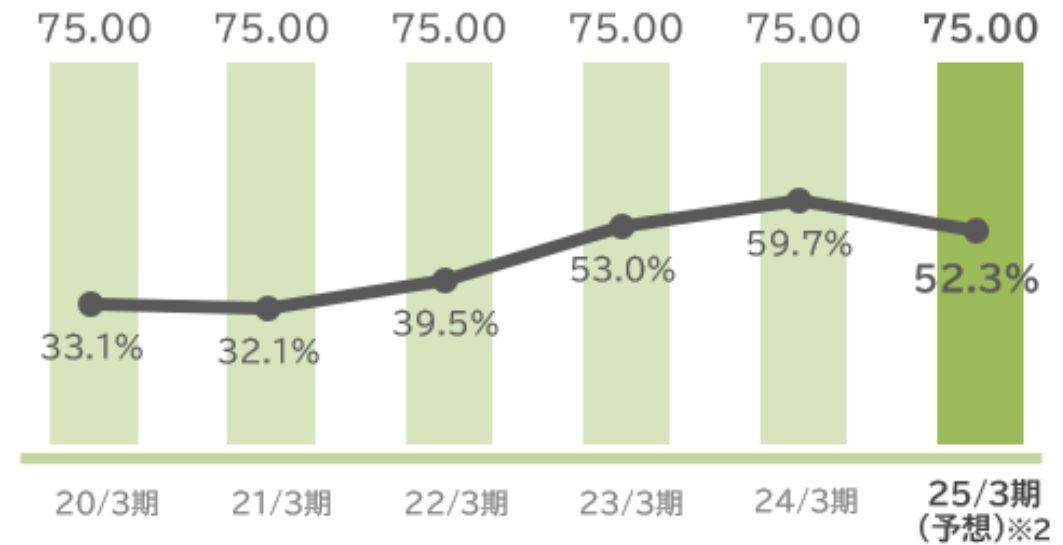
1株当たり当期純利益

(円)



1株当たり配当額と配当性向

(円) ■ 1株当たり配当額 ● 配当性向



※1 23/3期より連結配当性向を「30%以上」から「40%を目途」に変更しております。

※2 25/3期(予想)の1株当たり当期純利益および配当性向は、24/3期末における期中平均株式数(予想)に基づき算出。

(参考)主要財務指標の推移

通期 (単位:%)	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期
自己資本比率	22.8%	26.1%	30.4%	27.4%	29.2%	30.2%	31.2%
自己資本当期純利益率 (ROE)	30.9%	33.3%	24.8%	21.9%	15.7%	11.0%	9.2%
投下資本利益率 (ROIC) ^{※3}	21.6%	29.3%	25.0%	18.9 % ^{※1}	12.1%	9.2%	10.6%
売上高営業利益率	2.6%	2.9%	2.9%	3.3% ^{※2}	2.2%	1.5%	1.8%
純資産配当率 (DOE)	9.3%	10.0%	8.2%	7.0%	6.2%	5.8%	5.5%

※1 21/3期は、新型コロナウイルスの影響に備えた資金の確保と大型M&Aのための長期借入により、負債増。

※2 22/3期から適用となった会計基準の変更を21/3期に遡求適用しております。

※3 カード退蔵益を含めて計算しております。



中期経営計画

(2025年3月期～2027年3月期)

株式会社ティーガイア

中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)資料は当社ウェブサイトよりご確認いただけます。

<https://www.t-gaia.co.jp/corp/ir/plan/pdf/plan.pdf>

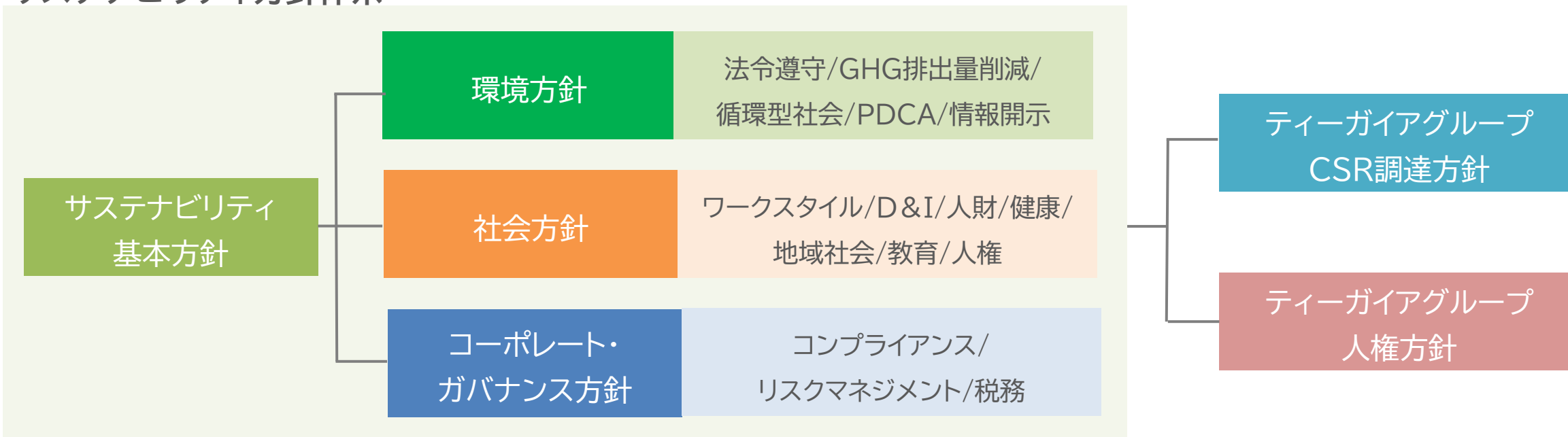
サステナビリティに関わる取り組み

ティーガイアグループサステナビリティ方針

サステナビリティ基本方針

当社グループは、事業活動を通じ、社会の持続的な成長に貢献します。
様々な社会課題の解決に取り組み、豊かな未来のために価値を創造し続けます。

サステナビリティ方針体系

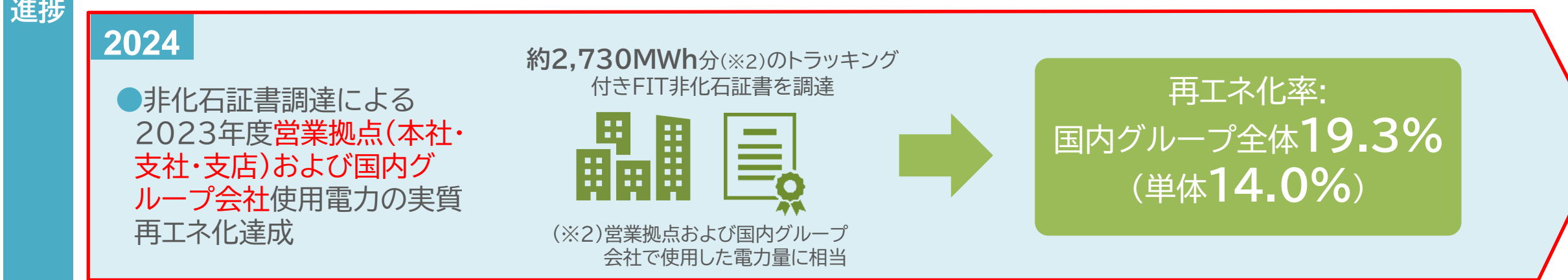
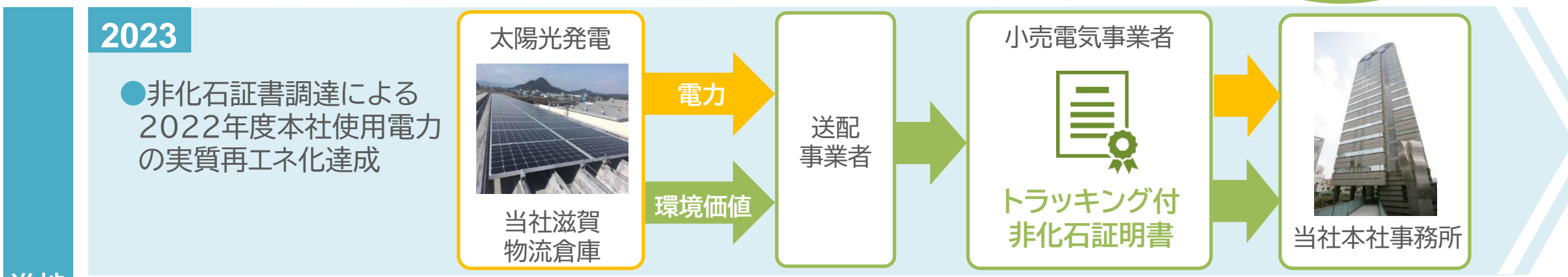


各方針・ガイドラインの内容の詳細は当社ウェブサイトよりご確認いただけます。

<https://www.t-gaia.co.jp/corp/sustainability/policy.html>

サステナビリティに関わる取り組み

カーボンニュートラル目標



サステナビリティに関わる取り組み

社外への賛同・参加

- ✓ 気候関連財務情報開示タスクフォース
- ✓ TCFDコンソーシアム
- ✓ 気候変動イニシアティブ
- ✓ 国連グローバル・コンパクト
- ✓ 再エネ100宣言RE Action
- ✓ Business for Marriage Equality

社外からの評価

- ✓ プラチナくるみんプラス
- ✓ D&I Award 3年連続最高位認定取得
- ✓ PRIDE指標 3年連続ゴールド受賞
- ✓ スポーツエールカンパニー2024 「ブロンズ認定」
- ✓ えるぼし
- ✓ 健康経営優良法人 6年連続認定
- ✓ CDP マネジメントレベル「B」認定
- ✓ EcoVadis ブロンズ獲得
- ✓ DX認定





T·GAIA

未来を拓く、明日への飛躍